



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月29日

上場会社名 JFEシステムズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4832 URL <https://www.jfe-systems.com>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大木 哲夫
問合せ先責任者（役職名） 企画・管理本部（氏名） 高野 由起子（TEL）(03)5418-2400
総務部長
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	29,258	△2.1	2,667	△19.9	2,707	△19.3	1,765	△22.9
2025年3月期中間期	29,891	△2.9	3,328	△17.7	3,355	△17.5	2,289	△15.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,973百万円（△10.4%） 2025年3月期中間期 2,202百万円（△20.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	56.19	—
2025年3月期中間期	72.87	—

当社は2025年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益の計算においては2025年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定した上で算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	52,751	34,931	64.1
2025年3月期	53,066	34,145	62.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 33,794百万円 2025年3月期 33,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	51.00	—	71.00	122.00
2026年3月期	—	28.00			
2026年3月期（予想）			—	40.00	68.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2025年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。年間配当金の表記につきましては、2025年3月期は分割前の1株当たり配当金を、2026年3月期は分割後の1株当たり配当金を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,436	△8.7	5,582	△26.4	5,700	△25.7	3,900	△28.3	124.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 税金費用の計算は見積りに基づく方法によっております。詳細は、添付資料P.8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記」(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	31,412,000株	2025年3月期	31,412,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,325株	2025年3月期	2,276株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	31,409,716株	2025年3月期中間期	31,409,724株

当社は2025年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「2025年3月期」及び「2025年3月期中間期」の期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数(中間期)においては2025年3月期期首に当該分割が行われたと仮定した上で算出しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当第2四半期(中間期)決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当第 2 四半期（中間期）決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当第2四半期（中間期）決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、米国の通商政策による一部産業への影響及び国内諸物価水準の高騰により消費活動には慎重さが見えるものの、インバウンド旅行客数の増加や投資の増加による効果もあり、緩やかな回復が続いてきました。情報サービス業界におきましては、企業のDX推進や働き方改革への取り組みに関連して、人手不足対応や生産性向上を目的とした情報システム投資は増加しており、引き続き堅調に推移しました。

このような事業環境の下、当社グループは、2025～2027年度の3か年の中期経営計画を策定し、『企業としての成長・事業間の協力連携・お客様との共創』をテーマに、J F E スチールとの取引で培った実績を強みとして、社会に貢献し、持続的に成長する企業を目指します。具体的には、重点成長事業（DX、ERPソリューション、基盤サービス）への事業ポートフォリオ転換の推進、会社の持続的な発展と成長を目指した企業文化の変革、本中期3か年の事業活動により創出されるキャッシュと手元資金を活用した投資・財務戦略の強化を3つの基本戦略に定め、取り組んでおります。

当中間連結会計期間の営業成績につきましては、主に重点成長領域である基盤事業本部、ERPソリューション事業本部、デジタル製造事業本部で拡大したものの、鉄鋼事業本部で減少したことを主因として前期に比べ減収となりました。また、利益面では、売上高の減少に加え、社員数の増加、処遇改善に伴う労務費の増加、及び今年度の事業計画に沿った人材採用・育成費用の増加等により、減益となりました。これらにより、連結売上高は632百万円（2.1%）減の29,258百万円、営業利益は661百万円（19.9%）減の2,667百万円、経常利益は647百万円（19.3%）減の2,707百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は524百万円（22.9%）減の1,765百万円となりました。

※ 経営成績の金額増減は前中間連結会計期間比で記載しています。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産合計は315百万円減の52,751百万円となりました。このうち流動資産は、現金及び預金、その他に含まれる前払費用の増加等がある一方、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことにより144百万円減の40,127百万円となりました。また、固定資産は、減価償却の進行等による減少により171百万円減の12,623百万円となりました。

一方負債合計は、流動負債のその他に含まれる契約負債が増加する一方、買掛金が減少したこと等により1,101百万円減の17,820百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益を1,765百万円計上した一方、剰余金の配当を1,115百万円行ったこと等により786百万円増の34,931百万円となりました。

※ 財政状態の金額増減は前連結会計年度末比で記載しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

鉄鋼以外の事業は堅調に推移する一方、鉄鋼事業では製鉄所システムリフレッシュの作業量減少影響に加え、その後の新規案件として当初見込んだ案件の受注遅れ等により、厳しい状況が見込まれます。その為、前回発表予想に対して184百万円の売上減、700百万円の経常利益減および360百万円の親会社株主に帰属する当期純利益の減少を予想しております。

<2026年 3 月期通期連結業績予想の修正（2025年 4 月 1 日～2026年 3 月31日）>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	58,620	6,300	6,400	4,260	135.63
今回修正予想（B）	58,436	5,582	5,700	3,900	124.17
増減額（B－A）	△184	△718	△700	△360	——
増減率（％）	△0.3	△11.4	△10.9	△8.5	——
（参考）前期実績 （2025年 3 月期）	63,972	7,589	7,667	5,442	173.27

（注）当社は2025年 4 月 1 日を効力発生日として 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っており、1 株当たり当期純利益は2025年 3 月期期首に当該株式分割が行われたと仮定したうえで算定しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,053,157	25,812,984
受取手形、売掛金及び契約資産	14,185,182	11,378,771
商品	36,305	58,752
仕掛品	257,479	110,322
貯蔵品	2,484	153
その他	1,744,437	2,774,382
貸倒引当金	△7,980	△7,980
流動資産合計	40,271,064	40,127,384
固定資産		
有形固定資産	4,078,780	3,880,541
無形固定資産		
のれん	358,673	313,839
その他	2,382,724	2,422,207
無形固定資産合計	2,741,396	2,736,045
投資その他の資産		
その他	5,991,819	6,024,056
貸倒引当金	△17,340	△17,340
投資その他の資産合計	5,974,479	6,006,716
固定資産合計	12,794,656	12,623,303
資産合計	53,065,719	52,750,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,490,422	1,975,065
未払法人税等	1,194,310	990,824
受注損失引当金	—	340,743
その他	7,836,907	8,320,052
流動負債合計	12,521,638	11,626,684
固定負債		
退職給付に係る負債	4,016,664	4,058,839
その他	2,382,432	2,134,645
固定負債合計	6,399,096	6,193,484
負債合計	18,920,735	17,820,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,390,957	1,390,957
資本剰余金	1,959,444	1,959,444
利益剰余金	28,501,766	29,151,586
自己株式	△1,460	△1,567
株主資本合計	31,850,707	32,500,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	912,626	1,083,191
退職給付に係る調整累計額	242,448	210,107
その他の包括利益累計額合計	1,155,074	1,293,297
非支配株主持分	1,139,204	1,136,802
純資産合計	34,144,984	34,930,518
負債純資産合計	53,065,719	52,750,687

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	29,890,755	29,258,437
売上原価	22,738,871	22,584,251
売上総利益	7,151,884	6,674,186
販売費及び一般管理費	3,823,721	4,007,522
営業利益	3,328,163	2,666,664
営業外収益		
受取利息	16,004	13,980
受取配当金	24,698	26,460
受取手数料	2,598	2,486
その他	2,648	1,443
営業外収益合計	45,947	44,368
営業外費用		
支払利息	1,887	2,052
固定資産除却損	17,483	1,376
その他	21	120
営業外費用合計	19,390	3,548
経常利益	3,354,720	2,707,483
税金等調整前中間純利益	3,354,720	2,707,483
法人税等	980,323	872,876
中間純利益	2,374,397	1,834,607
非支配株主に帰属する中間純利益	85,613	69,742
親会社株主に帰属する中間純利益	2,288,784	1,764,865

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	2,374,397	1,834,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150,161	170,565
退職給付に係る調整額	△21,757	△32,341
その他の包括利益合計	△171,918	138,224
中間包括利益	2,202,479	1,972,831
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,117,370	1,903,089
非支配株主に係る中間包括利益	85,110	69,742

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。